

# ⑪優先順位を考えよう！

ある日、ゆうこ先生がクラスのまさとくんのことで相談に来ました。

「ゆき先生、まさとくんは絵を描いているときにとってもいい顔をするんですよ。絵をもっともっと上手になってもらいたいです。どうやって教えたらいいでしょうか？」

ゆき先生ははてっきりまさとくんの「お友達を叩く」ことについて相談されると思っていたのでびっくりして目が点になってしまいました。

最近、研修や教育相談などで現場の先生方や保護者の方とお話しする機会が多くあります。発達が気になる子どもさんへの対応についてお話することが多いのですが、その際繰り返しお伝えしている事があります。

**それは、「優先順位を考えて教えてください」ということです。**

今、子どもに教えるべきことは何か、つまり優先順位を考えてほしいのです。

もちろん、様々なことを経験させるのは大切で、それらすべてやめなさいと言っているわけではありません。しかし、例えば、毎日、お友達を叩いているお子さんにひらがなの勉強は必要でしょうか？おむつがとれていないお子さんに、まず社会的スキルを教えるのはどうでしょうか？1語文のお子さんに、公文のカードで「おおかみ」「れんこん」は教える必要はあるでしょうか？今、その子に何が必要か、何から教える必要があるのかをよく考えてみてください。

優先順位の目安を挙げます。

以下の3つに当てはまるような大きな問題行動がある場合は、優先するようにして下さい。

安全面などで危険が伴う（窓から身を乗り出す、道路に飛び出すなど）

他人を傷つける危険が伴う（棒を振り回す、お友達を叩く、蹴るなど）

強いパニック（泣き叫ぶなど）が長期にわたっている

年齢が大きくなってからの問題行動は、対応が難しくなり、変えるのに時間がかかります。

小さいときから、早めに対応するようにしましょう。

また、身辺自立も優先して教えてください。排泄、食事、衣服の着脱などです。大人が助けなくても自分の力でできるように、小さい時にきっちり教えるようにして下さい。



**ルール⑪：優先順位を考えて教えましょう**

**問題行動と身辺自立を優先して下さい！**

